

共生社会実現へ決議

熊本市 知的障害者と家族ら 全国大会

知的障害者と家族らでつくる「全国手をつなぐ育成会連合会」の第6回全国大会が23、24日の2日間、熊本県中央区の熊本城ホールであった。「虐待防止や差別の解消」「療育の保障と家族支援」など14項目の全体決議を採択した。

大会は共生社会の実現を目指し毎年開催。県内では初めてで、全国から約2300人が参加した。

24日は全体会を開き、実行委員長の川村隼秋・県手をつなぐ育成会長が「熊本地震では全国からの支援が心の支えとなり、助け合いや励まし合いの大切さを学んだ」とあいさつ。当事者による決議として、「災害時に安心できる場所を作つて」「障害が重くても軽くとも、同じ人として接して」など7項目を採択した。

天草市出身の放送作家

(林田賢一郎)

家・脚本家の小山薫堂さんが記念講演。障害者が描いたアート作品を商品化する企画などを紹介し「作品が発信され、社会のうねりとなる。人を笑顔にする企画がもっと必要」など述べた。

23日は「学ぶ」「働く」などをテーマに5分科会で課題を討議した。次回大会は来年10月、愛媛県である。



当事者がまとめた大会決議を採択する参加者
=24日、熊本県中央区